

議 題：平成28年度 宮城県試験研究機関評価委員会 第1回工業関係試験研究機関評価部会

日 時：2016/11/1

場 所：宮城県行政庁舎 第一会議室

出席者：当日配付資料2参照

1 開会

2 挨拶 宮城県産業技術総合センター所長 守 和彦

3 事業紹介（トピックス）について

イ デジタルエンジニアリング高度化支援事業

[質疑]

○内田部会長 一般的に3Dプリンタは生産性があまり良くないので試作とか試験研究には向いていると思うが、開発型にも使われるのか。何か方向性は見えているのか。

○堀推進監 3Dプリンタはさまざまな所で研究開発が進んでおり、特に東北大学の千葉先生の所では電子ビーム型の金属積層3Dプリンタで、造形速度を一番の特徴としております。おそらく将来的には金属積層3Dプリンタを並べたような所で、複雑形状の部品生産が航空機分野をはじめとする多くの分野で使われていくと思います。実際イタリアでは量産工場が出来ていると聞いています。まずはその先鞭役となる技術者の育成をと考えております。我々は先端を追い求めるのではなく、地域企業に如何に普及させるかを中心に行っていきたいと考えおります。

○守所長 最近、実際に3Dプリンタで商品化させている例として仙台の企業がトランペットのミュートを、個々にカスタマイズでき、なおかつ、3Dプリンタを複数台使って割と量産できています。少量でなく中量ぐらいであればビジネスになりつつあるという状況で、かなり評判が良く売れているようです。そういった事例も出て来たという事でございます。

○竹淵委員 クリエイティブデジタルエンジニアというかなり高度なスキル、単にコンピュータが使えるようにというレベルではなく、デザイナーとしての知見もあってというスキルを持った人材はなかなか中小企業にいるとは考えられない。そういう企業にそういうスキルを持っていそうな学生をマッチングさせるような意味合いで（デザイン）センターを大学の学生にアプローチしていくという考えはあるのか。まずは人がいないと機械があってもできないのではないかと。

○守所長 今まで我々3D-CADの研修を長年やってきていて、大手も受講していますし、中堅どころの企業もけっこう受講しています。中堅どころの企業のオペレータを1ステップ上げればかなり提案型の企業になるのではないかとというのがひとつの狙いです。ベンチャー、スタートアップもターゲットです。学生はターゲットに入れていませんでしたが検討してみる価値はあるかなと思います。

○堀推進監 これを活用するツール類は揃っているので地域の方、特に新入社員など若手の育成をしながら、DEにより深く取り組んでくれればというのがこの事業の目標で

ございます。

○竹淵委員 今、全然人が採れない、特に中小企業は見向きもしてもらえない、企業に積極的に入っていけるような仕事が、こういう新しい技術を使っていくことで「あなたの就職先が地元企業でも出来るんです」というようなアピールになっていけばよいなど思っている。

○堀推進監 個人的な見解も含めると、ものづくりの魅力が重要で、そこをうまく地域の学生に伝えられて、素晴らしいものづくり企業が地元にあるということが分かっていたらできれば恐らく求人に応じる人はいると思います。

#### ロ 宮城県における酒造業界への技術支援とその成果

[質疑]

○内田部会長 県の試験研究機関がやったものが地元の蔵で使われているという素晴らしい事が他の県でも同じ状況なのかどうか伺いたい。

○橋本総括 酵母開発については東北6県の場合、全ての県で同じような対応をして使われています。ただし他県は主にコンテストに向けた吟醸酵母の開発から着手しています。我々は売り物として主力の純米ですとかバリエーション化に着手をして売り物を良くして生業を成り立つという所を主眼にしている所が違う所かと思っております。

○内田部会長 他の工業系の試験研究機関で良いものを開発してもなかなか企業がそれを採用するというのは多くはないように思う。それなりのリスクも伴うと思うが、こんなうまく連携がとれるのは何か特別な理由があるのか。

○橋本総括 業界団体である県酒造組合が活発に活動しておりまして、企業の代表が参加する需要開発委員会や技術委員会などが設置されております。開発の前段階でどういったものが求められるのかの課題整理を行いまして、本当に皆が欲しがっているのか1社だけが必要なのかを整理する必要がある。それを委員会の中で我々もコミットして一緒に考えて整理をしていくことでなるべくみんなが共通に近い所から着手しているという整理ができたことが他にはない所かと思います。

#### 4 議事

- (1) 評価部会の運営について
- (2) 審議事項（研究課題の事後評価について）（非公開）
- (3) 審議事項（研究課題の事前評価について）（非公開）
- (4) 報告事項（平成27年度評価部会審議結果への対応について）（非公開）

6 挨拶 宮城県産業技術総合センター 副所長兼事務局長 千葉 伸洋

7 閉会